

(株)東葛毎日新聞社

発行所〒277-0843 柏市明原2-3-14-203

☎:04-7146-7312/FAX:04-7146-7313



fureai@bunya.ne.jp

ふれあい毎日

創刊は2001年、地域密着型の情報紙として、心温まる話題をお届けしています。

毎月第一水曜日発行

発行エリア

市川・浦安・船橋・習志野・鎌ヶ谷

八千代・佐倉・白井・成田・印西

酒々井・富里・栄の13市町 4万部発行

BATHCLIN

バスクリン 公式通販ショップ

バスクリン 通販

国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑

伝統の朝顔

(佐倉市城内町117) 8月3日(水)～9月4日(日)

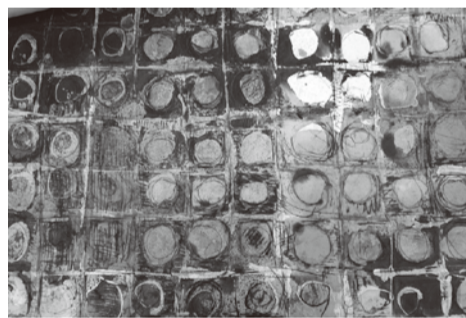
歴博「暮らしの植物苑」内のビニルハウス、東屋、よしず展示場に同苑で栽培した約100系統、約700鉢の朝顔の展示が今日から始まる。大輪の朝顔や伝統の変化朝顔を見ることが出来る。見学は花の特性上、午前中がおすすめ。9時30分～16時30分(入苑は16時00分まで)。8月15日(月)～21日(日)は8時30分から開苑。毎週月曜休苑。ただし、8月15日(月)は開苑。入苑料100円、高校生以下無料。



アンデルセン公園の「にじの池」は9月まで水遊びが楽しめる

「和紙の白から墨の黒の間には様々な色が存在します。一見違って見えるものでもどこかで繋がっているはず。大きさもそうで、小さいけど大きな存在もあるように、存在は大きさに比例しません。見えるものの奥には見えないものがたくさん隠れて居ると思います。美術を感じる場所が美術館(館)であって欲しい」と

「和紙の白から墨の黒の間には様々な色が存在します。一見違って見えるものでもどこかで繋がっているはず。大きさもそうで、小さいけど大きな存在もあるように、存在は大きさに比例しません。見えるものの奥には見えないものがたくさん隠れて居ると思います。美術を感じる場所が美術館(館)であって欲しい」と



「日々刻々」シリーズより

「白ト黒ノ間-いろいろのいろ墨のいろ-」
ふなばしアンデルセン公園内の子ども美術館で、今月13日(土)から「白ト黒ノ間」をテーマにした企画展が開催される。船橋市在住、抽象水墨画家で現代アーティストの荒井恵子さんのコンテポラリーな作品で構成された展示だ。公園内の子どもの美術館で、今月13日(土)から「白ト黒ノ間」をテーマにした企画展が開催される。船橋市在住、抽象水墨画家で現代アーティストの荒井恵子さんのコンテポラリーな作品で構成された展示だ。公園内の子どもの美術館で、今月13日(土)から「白ト黒ノ間」をテーマにした企画展が開催される。船橋市在住、抽象水墨画家で現代アーティストの荒井恵子さんのコンテポラリーな作品で構成された展示だ。

「白ト黒ノ間-いろいろのいろ墨のいろ-」



ふなばしアンデルセン公園 子ども美術館
8月13日(土)～9月25日(日)

水墨現代アーティスト
荒井恵子さん

船橋市



荒井恵子さん

会期中、幼児から小学生までを対象にしたワークショップを開催。オリジナルの和紙を漉き、水描きした作品に墨を引くと、描いたものが浮き上がってくる不思議な体験が出来る。

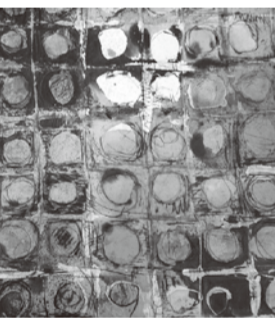
アーティストが語る「企画展「テーマ」思ふ」

「和紙の白から墨の黒の間には様々な色が存在します。一見違って見えるものでもどこかで繋がっているはず。大きさもそうで、小さいけど大きな存在もあるように、存在は大きさに比例しません。見えるものの奥には見えないものがたくさん隠れて居ると思います。美術を感じる場所が美術館(館)であって欲しい」と

「和紙の白から墨の黒の間には様々な色が存在します。一見違って見えるものでもどこかで繋がっているはず。大きさもそうで、小さいけど大きな存在もあるように、存在は大きさに比例しません。見えるものの奥には見えないものがたくさん隠れて居ると思います。美術を感じる場所が美術館(館)であって欲しい」と

「和紙の白から墨の黒の間には様々な色が存在します。一見違って見えるものでもどこかで繋がっているはず。大きさもそうで、小さいけど大きな存在もあるように、存在は大きさに比例しません。見えるものの奥には見えないものがたくさん隠れて居ると思います。美術を感じる場所が美術館(館)であって欲しい」と

「和紙の白から墨の黒の間には様々な色が存在します。一見違って見えるものでもどこかで繋がっているはず。大きさもそうで、小さいけど大きな存在もあるように、存在は大きさに比例しません。見えるものの奥には見えないものがたくさん隠れて居ると思います。美術を感じる場所が美術館(館)であって欲しい」と



「日々刻々」シリーズより

暑中お見舞い申し上げます

2022年 盛夏

日頃は東葛毎日新聞社及び毎日新聞を格別のお引き立てにあずかり、誠にありがとうございます。厳しいお暑さの中、相変わらず新型コロナウイルス感染症による深刻な情勢が続いております。皆さまにはご自愛いただき、心よりご無事をお祈りしております。

千葉県毎日会

会長 小木曾史人

千葉県毎日会

副会長 室井 真

千葉県毎日会

幹事長 龍福 正昭

千葉県毎日会

会計 血澤 雅之

千葉県毎日会

顧問 宮澤 誠一

千葉県毎日会

常任顧問 伊藤 慶信

千葉県毎日会

相談役 清水 昭

毎日新聞社

支局長 長谷川 豊